#### （１）運航者撤去作業計画 (航空運送事業者向け)

※本計画は運航者が空港に乗り入れる前や空港使用届を提出するとき、航空機型式に応じた運航者撤去作業計画の提出が必要です。

# **【福島空港】運航者撤去作業計画**

**(航空運送事業者向け)**

提出年月日

会社名

所属

代表者氏名

電話番号

E-mail

航空機が航行不能となった場合に備えるため、航行不能の種類に応じ【デボッグ編】【リカバリー編】【サルベージ編】について、それぞれ該当する型式に応じた運航者撤去作業計画を提出します。

なお、記載事項において、撤去に関する実施体制が整わない場合又は空港管理者から空港の運用に甚大な影響を及ぼすと判断された場合への迅速な対応を確保するため、「航行不能航空機撤去作業に関する同意書」を提出し、空港管理者及び撤去作業関係者に撤去作業の一部又は全部を委託します。

また、以下に記載の撤去に必要な資機材のうち、貴空港において調達できない状況が生じたものについては、別途、当該リストを明らかにするとともに、対応について相談•調整します。

赤字　記載必須事項

青字　必要に応じて記載　※但し空港管理者から確認する場合あり

福島空港事務所長（以下「事務所長」で記載済

# **運航者撤去作業計画【デボッグ編】**

|  |  |
| --- | --- |
| 運航者 | 〇〇 |
| 航空機型式  及び登録記号 | 撤去方法が同一の場合は、ひとつの計画を複数機材に適用することも可とする。ICAOの機材コードで記入することを基本とする。  （例）A320、A21N、B738、DH8D、A35K、B78X など・・・ |

航空機の損傷が比較的軽微である場合又は損傷が全くない状態で、滑走路又は誘導路上で航空機が動けなくなった状態や滑走路等からの逸脱した状態において、航空機を移動させる場合

【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのか等の概要を記載する。

１．運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

(1) 機体所有者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |
| 対象機材 | （対象となる機材の登録記号を記載） |

※リース会社からのリースの場合は省略可。

※運航者の判断だけで撤去が実施できない場合には記載をすること。

（２）運航委託会社

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

※所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要。

（３）撤去責任者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会社名 |  | 〇〇 |
| 担当部署 |  | 〇〇 |
| 電話番号 |  | 〇〇 |
| E-mail |  | 〇〇 |

(４)現場作業責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

（５）運航者撤去作業体制

撤去責任者

現場作業責任者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整備部門 | 地上取扱部門 | 運航部門 |
| 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 | 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 | 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 |

その他（本社・支援部門、保険会社等を必要に応じて記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

2.**機材並びに要員リスト**(※必要に応じて委託先を含むものとする。)

(1)機体移動に必要な機材リスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機材の種類 | 牽引車 | 事務所長の指示に従い、航行不能となった機体を、滑走路から○○航空事業所まで移動させる。 |
| 保管場所 | 〇〇 | 〇〇 |
| 機材提供者 | 〇〇航空 | 〇〇 |
| 貸借方法等 | 自社保有  スポット契約 | 〇〇航空社とは、あらかじめ航行不能航空機事案発生時には支援作業に応じた支払いを行う協定を締結している。 |
| 搬入方法等 | 自走 | 事務所長に先導してもらい、○○航空事業所から同社により自走 |
| その他 | 必要に応じ記載 | 〇〇 |

(2)機体移動に必要な要員リスト

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担当部門 | 会社名 | 人数 | 備考 |
| 整備 | 〇〇 | 〇〇 | 当該機の牽引 |
| 地上取扱 | 〇〇 | 〇〇 | 〃 |
| 運航 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| その他 | 〇〇 | 〇〇 | 当該航空機搭乗員 |

(3)関係機関リスト及び連絡先

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 関係機関名 | 連絡先 | 調整項目 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |

3.航空機部品等の手配•調達方法

(1)福島空港における予備品(航行不能に関係しそうなもの)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 航空機型式 | 部品機材名 | 数量 | 備考 |
| 〇〇 | 〇〇 | おおよそ〇〇個 | 〇〇 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| 型式は共通の場合は省略可 | 予備タイヤや交換部品のほか、撤去に使えそうな資機材等あれば記入ください。 |  |  |

(2)自空港以外から搬送する航空機部品等(撤去に関連するもの)の手配•調達方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部品・資機材名 | 手配•調達方法等 | 運送手段(時間の目安) | 備考 |
| ギア | 〇〇に連絡し、手配 | トラックで搬送（24時間以上） | 空港外から手配 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |
| 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 | 〇〇 |

(3)その他参考となる事項

融通先の航空会社の緊急時連絡先•在庫状況を定期的に確認すること。

航空機製造者が提供する対象型式の航空機リカバリーマニュアルを添付又は航行不能航空機事案発生で必要な際には直ちに提供すること。

4**.**撤去作業に関する方法

•作業フロー及び役割分担

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 担当 | 備考 |
| 整備担当  現場派遣 | 整備、地上取扱担当 | 牽引車、トーバー、予備タイヤ等を当該機まで搬送  ※事務所長に先導してもらう |
| 牽引  可否判断 | 整備、地上取扱担当 | 機体のブレーキリリース可能等のチェック実施、トーバーを取り付けられるか確認 |
| 旅客降機 | なし | 状況によって降機する場合もあり |
| 機体移動判断 | 整備担当 | 機体全体の点検を実施、現状で移動可能と判断 |
| 機体移動準備 | 整備担当 |  |
| 機体移動作業 | 整備担当 | 牽引車により牽引、他の車両に搭乗した整備員が牽引中問題ないか機体を監視 |
| 機材•人員手配 | 整備担当 |  |
| タイヤ運搬 | 整備担当 |  |
| 牽引 | 〇〇（委託会社） |  |
| 路面清掃等 | 整備、地上取扱担当 |  |

５**.その他参考となる事項**

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等

事務所長が指定するスポット等に保管（保管期間は○○日・ケ月を想定）

# **運航者撤去作業計画【リカバリー等編】**

|  |  |
| --- | --- |
| 運航者 | 〇〇 |
| 航空機型式  及び登録記号 | 撤去方法が同一の場合は、ひとつの計画を複数機材に適用することも可とする。ICAOの機材コードで記入することを基本にする。  （例）A320、A21N、B738、DH8D、A35K、B78X など・・・ |

滑走路からの逸脱又は閣座、前脚又は主脚を含む損傷等のため、航空機リカバリーキット又はクレーンのような重機等を使用しなければ航空機を移動させることができない場合(全損を除く。)

【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのかの概要を記載する。

１．運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

(1) 機体所有者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |
| 対象機材 | 対象となる機材の登録記号を記載 |

※リース会社からのリースの場合は省略可。

※運航者の判断だけで撤去が実施できない場合には記載をすること。

（２）運航委託会社

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

※所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要。

（３）撤去責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

(４)現場作業責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

（５）運航者撤去作業体制

撤去責任者

現場作業責任者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 整備部門 | 地上取扱部門 | 運航部門 |
| 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 | 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 | 会社名（委託含む）  〇〇  連絡先  〇〇 |

その他（本社・支援部門、保険会社等を必要に応じて記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

２．重機等並びに要員リスト(※リカバリーキットを手配せず撤去する場合)

※重機等の搬入経路は事務所長と調整すること。

※自社で調達可能な機材がある場合に記載すること。

※IATP加入航空会社またはIATPとスポット契約をする場合は記載省略可。

（１）重機等リスト(クレーン(レッカー)車、台車、敷板等のリストを記入すること。)

|  |  |
| --- | --- |
| 機材の種類 | クレーン車〇t |
| 場所 | 〇〇市〇〇区〇〇・・・　通常は空港から普通車で10分以内 |
| 機材提供先 | 〇〇建機レンタル（株）　〇〇事業所から県道〇号線により空港まで移動 |
| 搬入方法•経路等 | 大型車両3両の移動に15分（移動開始後）かかる見込み（最速の場合） |
| 時間(目安) | クレーン車などの前に先導車両1台あり  クレーン車の通行にあたり道路通行許可等は不要。 |
| その他 | IATP通常、クレーン車はレンタルされていることが多いので、いつでも対応できるわけではない。　車両の搬入、クレーン操作は同社で対応可能とのこと。 |

※空港外から大型機材を搬入する際には空港周辺・空港内の搬入ルートを示す図を添付すること。

福島空港までの搬入ルート Map Fan等を利用（推奨）

福島空港内の搬入ルート

航行不能航空機の位置、一時保管場所、重機の配置図等

ダイアグラム, 設計図

AI 生成コンテンツは誤りを含む可能性があります。

✈　航行不能航空機

（機体中心部は滑走路中心線から92m、ＴＷＹ〇と滑走路中心線の交点から255ｍの位置）

✈　機体搬送先

小型機スポット〇番

撤去資機材等入場 ４ゲート

クレーン等入場 ４ゲート

―― クレーン等入退場ルート

―― 撤去機材搬送ルート

敷板 2m×10m １５枚

保安道路〇橋から幅１０ｍ×長さ３０mに敷設）

（２）機体移動に必要な要員リスト

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 社名/所属 | 人数 | 備考 |
| 〇〇航空 | 〇〇 | パイロット２、整備士4人 |
| 〇〇 | 〇〇 |  |

（３）航空機型式の最大離陸重量(MTOW)

| 航空機型式 | 重量(トン) | 備考 |
| --- | --- | --- |
| 〇〇 | 〇〇 |  |
| 〇〇 | 〇〇 |  |
| 〇〇 | 〇〇 |  |

※1ポンド(lb)＝453.59グラム(g) 、 1トン(t)＝2204.62ポンド(lb)

（４）航空機リカバリーキットの手配•調達方法

※航空機リカバリーキットには必要な要員•重機等の手配がパッケージとして含まれている。

※IATP Web site ⇒ https://www.iatp.com/

①IATP (International Airlines Technical Pool)への加盟状況

|  |  |
| --- | --- |
| IATPへの加盟状況 | 有・無 |
| IATPに加盟していない場合、必要に応じてスポット契約するか等 | スポット契約をする |
| リカバリーキットの具体的な入手方法 | IATPへ連絡 |

(※事前契約ではなく事案発生時に契約する場合はその方法を記入すること。)

②航空会社・グランドハンドリング事業者等と相互の共同利用協定（プール協定）等の締結状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 有無 | 航空会社名・事業者名 |
| 撤去機材 | 有　・　無 | 〇〇 |

３.撤去作業に関する方法

作業項目及び役割分担

(※必要に応じて項目及び作業概要を追加すること。)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 担当 | 作業概要 |
| 整備担当  現場派遣 | 整備担当 | ※事務所長に先導してもらう |
| 航行不能航空機の状況調査 | ・撤去責任者  ・空港管理者担当者（状況を写真等で記録） | •航行不能航空機の状態確認 (電気系統、液依の流出)  •燃料等流出の状態確認(流 出防止措置、路面清掃)  •機体及びエンジンメーカーからの情報収集  •危険物等の搭載状況確認  •重量及び重心位置の確認  ・旅客降機の必要性判断 |
| 空港基本施設の点検 | 空港管理者 | ・滑走路点検  ・滑走路灯、中心線等の灯火点検 |
| リカバリーキット等の使用可否判断 | 撤去責任者 | 搬出に通常のクレーンによるスリングで対応可能か判断 |
| 重機等・人員の手配又はリカバリーキットの手配 | 撤去責任者 | これまでの調査により具体的な撤去計画案を検討、それに基づき重機、要員等の手配 |
| 重量軽減の調整 | 撤去責任者 | •燃料等抜き取り  •郵便物、手荷物、貨物等の取り下ろし  の判断 |
| 関係機関との調整 | 撤去責任者 | •撤去に必要な行政手続等  事業所事務室で実施 |
| 重機等の搬入又はリカバリーキットの搬入 | 撤去責任者 | •移動手段 |
| 航空燃料等  抜き取り | 撤去責任者 | 必要か判断  残存燃料の計算 |
| 郵便物、手荷物、貨物 等取り下ろし | 撤去責任者 | 必要か判断 |
| 機体の保護 | 撤去責任者 | •機体部品脱落防止及びエンジンの保護　必要か判断 |
| 撤去作業 | 撤去責任者 | •機体の安定化(水平化)  •機体の持ち上げ(リフティング)  ・移動に当たって保護材要否 |
| ギアの修理又は交換(ギアの検査) | 撤去責任者 | 必要か判断 |
| 機体のけん引 | 撤去責任者 | •けん引又はウィンチ•移動式トレーラーによる移動 |
| 路面清掃等 | ○○ | ○○ |

４.航空機からの燃料の抜き取りに関する方法

(1)航空機型式毎の最大燃料搭載量

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 航空機型式 | 燃料量(lb) | 備考（燃料の種類等） |
| A320 | 〇〇 | JET A-1 |
| A21N | 〇〇 | JET A-1 |
| B738 | 〇〇 | JET A-1 |

(2)燃料の抜き取り方法

|  |  |
| --- | --- |
| 契約給油会社 | マイナミ空港サービス株式会社、三愛アビエーションサービス株式会社、  株式会社ENEOSスカイサービス、それ以外は会社名記入 |
| 機材等 | 給油会社が準備する機材による。 |
| 方法等 | 給油会社の所定の手続きによる。 |

(※必要に応じて、消防機関を含む関係機関との連絡調整及び抜き取った燃料の処理方法等を含めること。)

５.その他参考となる事項

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等

事務所長が指定するスポット等に保管（保管期間は○○日・ケ月を想定）

# 運航者撤去作業計画【サルベージ編】

|  |  |
| --- | --- |
| 運航者 | 〇〇 |
| 航空機型式  及び登録記号 | 撤去方法が同一の場合は、ひとつの計画を複数機材に適用することも可とする。ICAOの機材コードで記入することを基本にする。  （例）A320、A21N、B738、DH8D、A35K、B78X など・・・ |

航空機が全損した場合や海上における事故等

(※撤去作業の詳細は、【リカバリー編】による。)

【撤去方法の概要】

撤去の機材と作業員がどのようにいつからどの程度の時間を掛けて、撤去し、機体はどこへ搬出するのかの概要を記載する。

１．運航者撤去作業体制

(※必要に応じて組織図等を添付すること。夜間等の緊急連絡先を含めること。)

(1)機体所有者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |
| 対象機材 | 対象となる機材の登録記号を記載 |

※リース会社からのリースの場合は省略可。

※運航者の判断だけで撤去が実施できない場合には記載をすること。

(2)運航委託会社

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

所有者以外の者が運航を行う場合に記載が必要です。 氏名は代表的な運航者を記載してください。

（３）撤去作業責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

(４)現場作業責任者

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | 〇〇 |
| 担当部署 | 〇〇 |
| 電話番号 | 〇〇 |
| E-mail | 〇〇 |

本社•支店連絡先

(本社)

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

(支店)

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

その他緊急連絡先(整備会社等)

|  |  |
| --- | --- |
| 会社または部署名 | 〇〇 |
| 連絡先 | 〇〇 |

2.その他参考となる事項

撤去機材を空港内に一時的保管する場合はその保管場所、保管方法等

事務所長が指定するスポット等に保管（保管期間は○○日・ケ月を想定）